

《どうでもいい話、その 568》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！ 飲み会自粛も解除され「カンパーイ🍷」が復活しました。

さて、子供がいじめを受け、登校拒否したり、ひどいのは自殺したりする子がいて問題になっています。私が授業支援ボランティアを行っている小・中学校では、そのような場面を見たことがありません。ただ先日、小学校で担任の先生が男の子をコンコンと言い含めていたので、あとで先生に聞くと「あの子が、T君の名前をからかっていたので、注意しました」とのことでした。そういえばその昔、カッチャンとミッチャンは名前のごとでいじめられていました。カッチャンは「カッチャンカズノコ、ニシンの子」と言われ、カッチャンは「自分は人間の子だ。決してニシンの子ではない。むろんカズノコでもない」と怒ります。またミッチャンの場合は「ミッチャンミチウノコたれてー、紙がないから手でふいてー、もったいないからなめちゃったー」と言われました。ミッチャンにとっては、まったく身に覚えがなく、悪ガキ一同が述べた起訴事実は、事実無根の冤罪なので怒ります。しかもミッチャンに対する起訴事実は、カッチャンに対する以上に悪質で、名誉棄損も著しいものです。ミッチャンがいくら事実無根を主張しても悪ガキたちは無視します。むろん冒頭陳述などの機会も与えられず、仕方なくミッチャンは先生に告訴します。そして先生は悪ガキたちの前科、責任能力を鑑み略式命令すると、悪ガキたちは「記憶にありません」と、無罪を主張します。

岩波より